

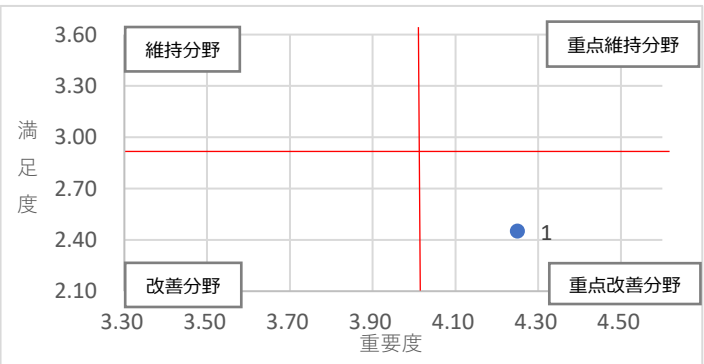
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	徴収事務事業				所管課	税務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	個人、法人	目的	徴収事務の能力向上を図り、収納の強化に努める。				
事業概要	国税徴収法、地方税法及び二宮町税条例等に基づく町税確保のための徴税手続き及び納税意識向上の啓発を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	02	02	02	大事業	徴収事務事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	6,749	9,242		9,211			
	概算人件費	7,271	10,408		10,936			
トータルコスト		14,020	19,650		20,147		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	3.70 人			10,936 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			10,936 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町税の収納率（%）【行革】	計画値	97.94	0.0～0.5上昇	0.0～0.5上昇	0.0～0.5上昇	0.0～0.5上昇	0.0～0.5上昇
		実績値		98.27	98.13	98.01		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	後半の半年間、市町村税務職員研修派遣制度を活用した県税事務所の徴収事務の経験を通じて、職員のスキルアップと知識の習得・向上を図った。
	課題	適正・公平な賦課徴収を行っていくために、必要となる専門的な知識や納税折衝などの技術を習得・実践し、徴収スキルの継承・人材育成が課題となっている。
今年度	成果（実績）	納税環境の整備として、口座振替や地方税お支払サイトの周知を当初納税通知書時に行うことで利便性の向上を図った。また、滞納処分では、差押えのほか不動産共同公売を活用するなど、各種徴収手段を展開し業務の強化に取り組んだ。
	課題	多様な納税方法の導入・運用にあたっては、納税者の利便性の向上や職員の事務負担の削減・費用対効果のバランスを総合的に考慮しなければならない。また、多様な滞納処分の手法を駆使し業務を進めていくためには、徴収スキルの継承や人材の育成が課題となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持